

宮代シルバー通信

43

令和3年度 定時総会開く



令和3年度6月定時総会が令和3年6月18日新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら宮代町立図書館で開催されました。昨年度よりもさらに出席者を制限した中、鈴木理事司会のもと始まりました。真砂副理事長の開会宣言、風間理事長の挨拶の後、永年勤続表彰者11名の方に感謝状が授与されました。

次に風間理事長が議長に指名され議案の審議が始まりました。

今年度の総会の議題は、
 議案第1号 定款変更の承認
 議案第2号 令和2年度決算書の承認
 報告第1号 令和2年度事業報告書
 報告第2号 令和3年度事業計画書及び予算書
 の2議案2報告です。

議案第1号は、会員の資格喪失について法律の改正に伴う定款の変更でした。

議案第2号では、受託事業収益が前年度と比較して6.2%の減額となる中、1,353千円余りの赤字となりました。



審議の結果、議案第1号、議案第2号とも全会一致で承認されました。次に報告第1号、令和2年度事業報告です。事業実績は4月、5月に事業自粛を行ったこともあり前年度と比較して大きく減少しましたが、6月以降は順調に推移し、コロナ禍ではありながら、前年比6.2%の減少にとどまったと報告がありました。報告第2号では、令和3年度事業計画書、予算書は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けるため、中・長期計画書の目標額を見直した計画、予算となったと報告されました。議長退任後、関根理事の閉会の言葉があり、令和3年度6月定時総会は終了いたしました。

風間理事長の挨拶



風間理事長

宮代町シルバー人材センターは今年で公益社団法人として節目の10年目を迎えます。

これまでも、地域

公益社団法人
 宮代町シルバー人材センター
 埼玉県南埼玉郡宮代町山崎3番地
 TEL0480-37-1353 FAX0480-37-1951
 e-mail miyashiro-sjc@rondo.ocn.ne.jp
 会員数 176名(男127、女49)



シャリンバイ 花言葉：愛の告白・純真

に根ざし、地域から信頼され、愛されるセンターを目指して事業に取り組んでまいりました。令和2年度も会員の皆様そして多くの町民の皆様、地元企業などのご理解ご支援をいただき、コロナ禍にありながらも事業実績は前年比6.2%の減少で済みました。

一昨年、当センターで初めての中・長期計画書を作成いたしました。

令和2年度は中・長期計画の初年度でありましたが、目標額を大幅に下回ることとなり2年目の目標数値も当初計画を下回るものとなりました。私は今回の総会で初めて理事長として出席することとなり、今後の事業運営は新しい目標数値のもとコロナウイルスの感染が終息することが当センター事業回復に欠かせないところです。コロナが終息した際には、大いにセンターを発展させたいと思っておりますので皆様のより一層のご協力をお願いします。

今、コロナ禍で大変な状況ですが皆様にはこれからも十分注意してご活躍されますことを期待しております。

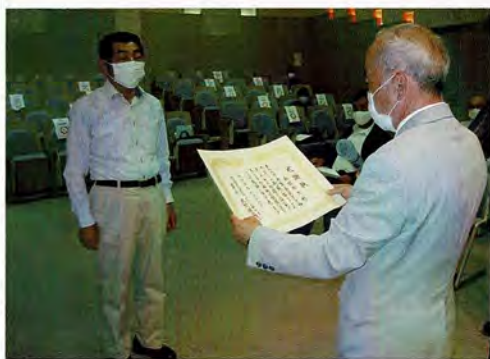
定時総会で功労者11名が表彰されました

永年表彰の感想

白石邦夫

この度功労者表彰して頂きありがとうございました。私がシルバー人材センターに入会することになったのは、65歳で仕事を離れ家で一日中ぼんやり過ごす様になったので体が弱ってしまうと思いシルバー人材センターに出向き会員登録をして連絡を待ちました。1か月後に連絡があり日本工業大学（日工大）の自転車整理の仕事があるとの事でした。喜んで受けました。数か月後に配食サービスの仕事が入り、車でお弁当を利用者宅に届けて利用者さんの安否確認をしながらの仕事でした。あの時からもう10年に成ったのかと思うと時の経つのは早いものだと思います。今も配食サービスの仕事を続けています。仲間の配食スタッフの皆様と協力してお弁当を届けています。利用者様からは、感謝されて人の為になっていると思いこれからもできる限り続けたいと思っています。

当シルバー人材センター独自事業の干し柿事業にもたずさわる事が出来て人との交流も多くなり、喜んでいるところです。今後ともよろしく願いいたします。



受賞された方々

出席者

白石邦夫さん

欠席者

池田登志子さん 岡上 好男さん

日下部規男さん 小林 瀏さん

須貝 照男さん 戸田 優さん

藤坂 平和さん 星野 道男さん

横山 功さん 吉村 清一さん

欠席者の写真は省略させていただきます。

表彰者の方々からの一言



小林瀏

私は60歳の時に入会しました。仕事は草取り、ゴルフセンターの玉拾いなどを行いました。2年間理事（広報部）を務めました。職場環境に慣れてきますと、もう少し長時間の就労につきたい思いにかられました。現在も継続して仕事ができることは有難いことだと感じております。仕事を始めてから早いもので10年たちました。健康でできる喜びと、人のために活動した結果、10年表彰していただきました。

岡上好男

平成23年に入会したのち、運搬業務や植木剪定を主に様々な仕事や当センターの理事、安全適正就業委員と忙しくも健康で前向きに従事させて頂きました。この度の会員表彰、誠にありがとうございます。人生百年時代といわれている今、我々シルバー世代は心にゆとりをもって送れる人生のゴールデンエイジだと思います。若さを保つ最大の秘訣は働き続けることで、能力も意欲も湧き、生涯現役で頑張っていければ人生はまだまだ光り輝けると思います。

十年とは早いものです。健康は本当に宝です。人材センターに携わる皆様の御蔭とお礼申し上げます。

川柳
自分褒め絶え絶え惚ふ一昔

呆け防止気持ちは深けぬ

シルバーよ

須貝照男

横山功

「もう10年経ったのか！」これが感想です。人材センターに登録当初は技術なし・仕事なし、時間有りの状況でしたが、植木関係機関で初期技術受講後、植木班で諸先輩・同僚に揉まれ、断続的だが働き続けられたことが因です。この後は・・・そして・・・。

新型コロナと干し柿

昨年と今年の渋柿の出来具合を見ていると、何故か柿自体が新型コロナ対策をしているのではと、ある本に書いてありました。それは、柿が「蜜」をさけるために実を落としてしまう、ひどいのになると間違っ全部の実を落としてしまうくらいです。又、よく見ると黒っぽいマスクをしている実も半分くらいあります。柿の世界ではまだマスク着用が徹底してないのかも『りません。うがい、手洗いはどうしているのでしょうか。秋になって結実、収穫されてからシルバー人材センターの方に洗ってもらうつもりなのかしら、い

やいや6月頃には梅雨で、夏には夕立でちゃんと洗っているそうですよ。本人（柿）が言っているから間違いないでしょう。

ところで最近は柿の仲間内ではフクチン接種（消毒）が話題になっているようです。

俺は1回やった、俺は2回やった、俺は1回もやってないとか、何か現実の問題になってきた所で目が覚めました。なーんだ夢だったのか、おかしな話だと思いました。

さて、干し柿作り事業も6年目に入りました。いつまでも天候のせいばかりにしてはられません。自分たちの足元をしっ

かり見直す時期でもあります。昨年もそうでしたが、数が少なければ少ないなりに、質の良いものを、商品として売れるものをみんなで検討して行きたいと思います。幸い、新しく参加していただけた方もおりますので、将来（10年節目）を目指してスタートの年にしたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

干し柿コーディネーター
川田正義



ふるさと自慢

月の沙漠と、足で見つけたサザエ採り



誰でも知っている童謡〔月の沙漠〕。この歌は大正12年に、詩人であり画家でもあった「加藤まさを」の作詞で発表され、今でも歌い続けられている名曲ですが、詩は千葉県房総半島の南東部に位置する、人口7500人余りの小さな町“御宿町”の海岸をモチーフにして出来たものです。今では波打ち際近くまで高層のホテルが建ち、景色も随分変わりましたが、その頃は丈の



低い砂防林が広がり、真っ白な砂浜とマッチして正に白砂清松はくさせいしょうの絶景でした。歌詞にある様に、月のきれいな晩には自然に出来た小さな砂丘と、水平線から上がる月が海面に反射して輝く光景は、筆舌に尽くせない美しさでした。岩場で働く海女さんも、当時はかなりの人数で若い人から年配の方まで、素潜りで鮑採りに励んでいました。鮑は高価で海女さん達の夏場の稼ぎは漁師より多かった様です。

当時サザエは漁にならず、採りに行くと言わず「拾いに行く」と言われていたものです。子供達も干潮時、遊びがてらに磯に行き、浅い岩場を

歩いて足先に当たるサザエを採ることが出来た程で、サザエはまるで石ころの様に磯の底には沢山転がっていたのです。一潜りして冷えた身体に暖を取る海女さん達は、岩に触れて怪我をしない様に自作の水着を着けていますが、陸に上がると上半身は丸出しで焚火を囲み、談笑しながら周囲を通る人達に誰彼無く焼きたてのサザエやトコブシを振舞っていました。日焼けした明るい笑顔は今でも忘れられません。故郷を離れ早60年、豊かな自然に恵まれ人情溢れる思い出は色あせることなく記憶に残った私の誇りです。

16班 式田正利

歳時記

Tさんからのお祭りの様子が投稿されました。

「御影供」 (ミエク・ミイク)

4月21日は西光院の縁日で御影供の行事が行われました。この日は弘法大師(空海)の命日でもある。西光院の近くに嫁いできた嫁が嫁入りの時の衣装で姑や実家の人々とお参りした。又内野のある家では「御影供」に草餅と白い餅をつけて親戚に配る風俗があった。



御影供

「端午の節句」

5月5日は端午の節句で3月3日の桃の節句、9月1日の八朔の節句と共に三節句の一つである。この節句は男の節句、菖蒲の節句とも呼ばれ、男子のいる家には親元から家紋が染められた幟(のぼり)や武者絵を描いた絵織、三色や五色の吹流し、武者人形が贈られ、お祝いをいただいた親戚に柏餅やアンビン餅をお返しに配った。又菖蒲と蓬を束ねて屋根にあげたり、菖蒲湯に入ると健康に良く、一年間無事に過ごせるなどと言われた。



端午の節句

事務局からのお知らせ

8月10日 (火) 午後1時30分
 9月14日 (火) 午後1時30分
 10月12日 (火) 午後1時30分

配分金の支払いについて

8月分 9月20日
 9月分 10月20日
 10月分 11月22日

夏季休業について

令和3年8月13日、14日、15日は夏季休暇となります。

シルバー祭り中止について

今年度も新型コロナウイルスの感染が終息しない状況を鑑み、シルバー祭りは中止といたします。

会員募集のお知らせ

センターでは毎月第2火曜日午後1時30分より当センター事務所において入会説明会を開催しております。町内のお知らせ合いの方にのご案内下さい。

就業上の注意

事務局より就業の依頼があった時には、すみやかに依頼者の方に日程等の連絡をしてください。また、就業先を訪ねるときは、必ず事前に了解を得るようお願いいたします。

ウィズコロナについて

新型コロナウイルスにはワクチン接種が有効であるといわれています。ワクチン接種が可能な方はワクチン接種を行い、感染しない、感染させないという行動をしましょう。ワクチン接種をしても体温測定の実施、手洗いやうがいの励行、マスクを着用し三密を避けるようお願いいたします。また、熱中症に

なる危険性が高いといわれていますので、人と人の距離が十分とれる場合は、マスクの着用は不要です。

配分金にかかる消費税

現在会員が受取る配分金には就業したことによる報酬(配分金)とその報酬(配分金)に係る消費税が含まれています。

本来、会員は受け取った配分金に係る消費税を税務署に申告納税する必要がありますが、消費税法上、課税売上として受け取る金額が、年間1000万円以下であるため免税事業者として取り扱われ、申告納税する必要がありません。

4月から7月入会者名

坂本サチ子さん 大山祐子さん
 原田由喜子さん 尾崎和夫さん
 以上の4人です。



編集の小径

▼令和3年度の定時総会は、会員皆様のご協力でスムーズに進行されました。コロナ禍の影響で2年目の中・長期事業計画は、残念ながら見直されましたが、これに基づいて我がセンターを前へ押し進めて行きましょう。▼今年の早い時期に、コ

ナが下火となり、安心した年になって欲しいという期待感を持つ反面、この暑い夏もどこまで続くのか不安を感じます。皆様とともに楽しく過ごせる日々が早く来ることを願うばかりです。(K)

